令和7年山形県教育委員会6月定例会 会議録

令和7年6月10日 14:00~14:25

<u>①開 会</u>

<教 育 長>

それでは、ただいまから、令和7年山形県教育委員会6月定例会を開会いたします。

②会議録署名委員の指名

<教育長>

会議録署名委員に、小関委員と和田委員を指名いたします。

③会期の決定

<教育長>

会期は、本日一日としていかがですか。

<各 委 員>

異議なし。

<教育長>

御異議なしと認め、会期は本日一日に決定いたします。

4議 事

<教育長>

これより議事に入ります。

議第1号「令和8年度山形県立高等学校の入学者募集について」、高校教育課長より説明願います。

<高校教育課長>

議1-1を御覧ください。本案は令和8年度県立米沢鶴城高等学校専攻科の入学者の募集を行う必要があるため、提案するものです。募集するのは「クリエイティブエンジニア科」、入学定員は10名です。

議1-2及び議1-3を御覧ください。入学志願要項には、推薦入学者選抜、一般入学者選抜それぞれの志願資格、募集区域、対象学科・募集人員、出願期間、提出書類、選抜及び合格者の発表等について記載しております。

議1-4を御覧ください。専攻科ではクリエイティブエンジニア科の 入学定員 10 名について、デザインエンジニアコースと I C T エンジニ アコースの2つのコースを設定しております。

本専攻科は地元からの強い要望もあり、平成15年度に設置しました。 これまで100名を超える修了生が実践的な専門技術を身に付け、地元企業等に就職し活躍しております。

よろしくお願いします。

<教 育 長>

ただいまの説明について御意見、御質問ございますでしょうか。

<小 関 委 員>

米沢鶴城高校に統合されてから専攻科のICTエンジニアコースの入学者が女性1名と聞きました。専攻科では魅力的な取組みを実施しているため、ぜひとも専攻科の生徒を増やせないかと思っております。山形大学工学部に編入できたりすると生徒が増えてきたりするのかなと

思いますが、それはなかなか難しいものなのでしょうか。

<高校教育課長>

米沢鶴城高校専攻科から山形大学工学部への編入については、専任教員の配置基準を満たしていないため、なかなか難しい状況にあります。 専攻科の現在のコースでは、例えばビジネスプランとして米粉を活用した商品の開発に取り組むなど、高い評価を得ている事例もあります。 米沢鶴城高校は、米沢工業高校と米沢商業高校が統合して開校し、商業科も併設しており、今後は、商品開発やデザインといった関連する研究テーマについて専攻科と商業科が連携することで学びの幅を広げ、より特色化を図ることもできるのではないかと考えております。

<教育長>

約10年前に高校の専攻科から大学への編入が制度として開けましたが、米沢鶴城高校専攻科の場合、教員配置の問題があり、難しい状況にあります。

<小 関 委 員>

米沢鶴城高校の屋上にGPS用のアンテナを設置して、衛星との通信で1センチメートルの誤差で位置情報が得られる取組みを実験的に実施していますが、これを先生1人で取り組んでいるため、厳しいと思いながら見ております。このような面白い取組みを行っているため、生徒が集まればいろいろと手がけられると思います。学校のホームページでもそれほどPRしていないと見受けられるため、その点についてもう少し努力が必要と思われます。

<教育長>

ほかになければ、原案のとおり可決してよろしいですか。

<各 委 員>

異議なし。

<教 育 長>

御異議なしと認め、議第1号は原案のとおり可決いたします。

<教育長>

次の議第2号は議会提案前の案件であり、議第3号は人事に関する案件であることから、これより秘密会としていかがですか。

<各 委 員>

異議なし。

<教育長>

御異議なしと認め、これより秘密会といたします。

≪ 議第2号及び議第3号は秘密会にて審議 ≫

<u>⑤閉 会</u>

<教 育 長> │ 以上を持ちまして、教育委員会を閉会いたします。